

# 東日本大震災と私

作成者 S.M2

## 1. 地震当日 2011.3.11 の私の体験

平成22年3月11日午後2時46分。

～東日本大震災が私たちを襲った～

こんなに大きな地震が起こることを、誰が予想していただろう。

こんなに大きな災害になるなんて、誰が想像していただろう。

地震は、大切な人、物、全てを私たちから簡単に奪っていった。

あの日あの時、私は3年B組の教室で6時間目の授業が始まるのを待っていた。ちょうど、あの日は担任の先生が出張でいない日だった。いきなり強い揺れが私たちを襲った。その瞬間、私たちはとても怖くなり、ひどく動揺してしまった。そんな中で、一人の男子生徒が「机の下にもぐれ!!」と言ってきて、初めて我に返った。

生まれて初めて、あんなに大きな揺れを感じ、どうすることも出来なかった。怖かった。窓がガタガタゆれ、掲示物が落ち、電気が徐々に消え、叫び声や泣き声が聞こえた。正直、このまま学校が崩れて死んじゃうのではないか、家族は生きていだろうか、自分は生きて帰れるのか、と不安ばかりが頭の中をグルグル回っていた。

揺れが起こってから少したったとき、やっと先生がきてくれた。どことなく、恐怖心が薄れていった。改めて先生の存在が大きく感じられた。

その日の夜、大きなろうそくを家族6人で囲みこたつの中で一晩過ごした。電気、ガス、水道が使えず、とても不便だった。情報を手に入れるために、携帯電話やラジオをフル活用していた。いつもなら、テレビのスイッチ一つで情報がわかっていたのに……。

普段の日常的な生活がどれほど、幸せなものかを思い知らされた。

次の日から、とても不便な生活が私たちを待っていた。

電気もガスも水道も使えず、非常食なんてそんなにあるわけではなかった。

ご飯の時の食器には、ラップをかけ極力洗い物を出さないように家族みんなで心がけていた。そんな中で、少量の食料をみんなで食べた。

正直、満足のいく食事なんてしなかった。お腹が満たされなかった。

私は、魚が嫌いだ。でも、こんな時に嫌いだからといって残したら、被災地の方々に申し訳ないと思わざるを得なかった。緊急時の時は、たとえ自分の苦手なものでもしっかり食べるのが大切だということを学んだ。

数日経って全てが復旧した。久しぶりに外に出て、買い物に行った。

途中、ガソリンスタンドがあった。私は、みたこともない光景を目にした。  
普段はやらないガソリンスタンドでさえ、20台以上の車が並んでいたのだ。その後の、スーパーも品物があまりにもなくて、本当に衝撃を受けた。  
インスタント食品はもちろん、お菓子や飲み物もなくおまけに節電もしていたので、いままでにみたこともないスーパーを見た気がした。  
あの地震は、私たちの想像をはるかに超えるとても怖いものだった・・・。

H22,3,11,PM2,46

Our teacher was away on external work. When I was in my 3B class room, suddenly, I felt big shake. We were suddenly attacked by fear. When I had a dreadful experience, a boy shouted, "Everyone!! Hide under the desk!! Quickly!!". I had never felt this big earthquake. It was an entirely new experience for me. I heard a girl's crying in my class room. I felt as if I might be killed. "Be my family in home no injury...", I prayed so. A teacher came into my 3B class room soon. I was relieved to see him. On the next day, I went for a shopping. But every goods were sold out. I had never seen this scene. I was very surprised.

## 2. 地震後3ヶ月間の私の動き

地震を体験してから、普段の生活を見直さなければいけないと改めて思った。被災地のことを考えると何かしなければいけない、という気持ちがあった。だから、私の家では節電を心がけている。具体的には、7時を過ぎたら玄関の電気を消す、ご飯を食べたらそれぞれの部屋に行き、居間のテレビ・電気を消すなどといったことだ。あと、使っていないコンセントを抜く、極力エアコンをつけないなどということもやっている。

I experienced this huge earthquake. I think myself that I have needs to be able to concentrate.

So, I save electricity to help people in IWATE and FUKUSHIMA.

To be concrete, we switch off the front door light after 7 o'clock at my home.

## 3. 今私にできること

節電、募金などは今すぐにでも行動にうつせらと思う。

節電や募金はいくらやってもいい行動だと思うし、また一人が行動にうつせばみんなが、後についてくるといったものだと思う。

だから、自分はまだ節電や募金をするというだけでなく、率先してやっていかなければならないと思う。

I think to save electricity. I will do any contributions soon.



I will do it myself.